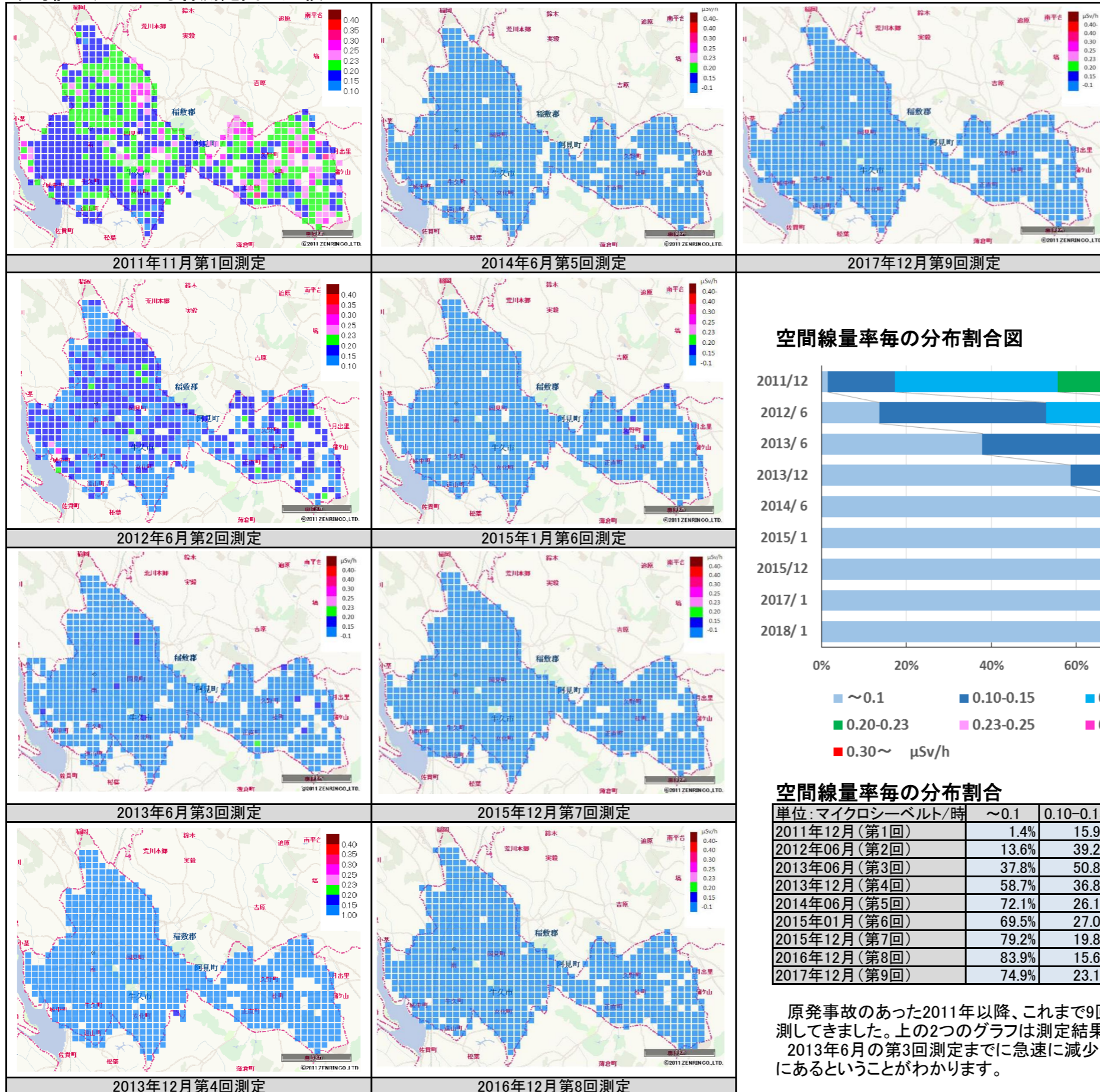
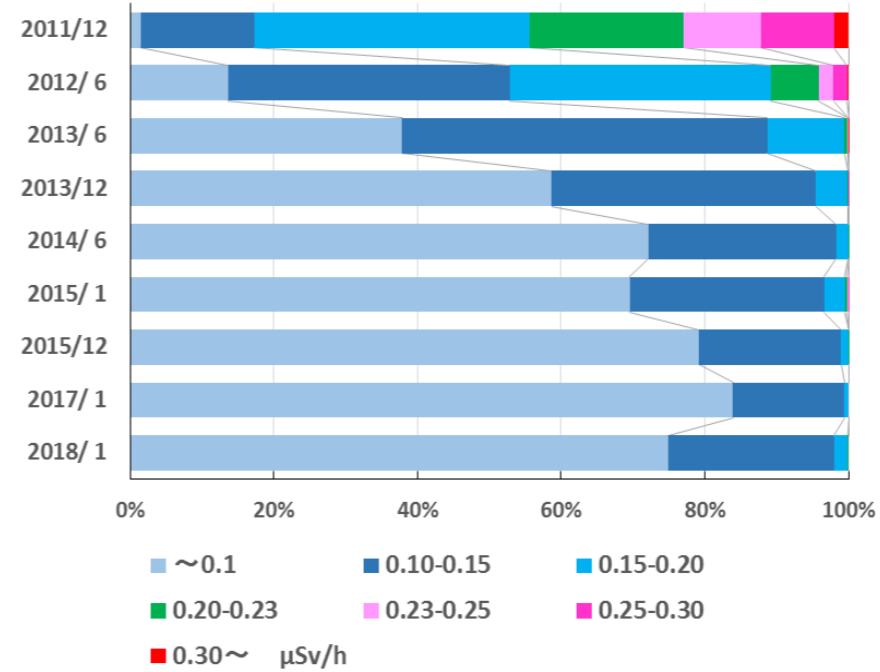


## 平均値マップによる各測定回の比較



## 空間線量率毎の分布割合図



## 空間線量率毎の分布割合

単位: マイクロシーベルト/時	~0.1	0.10-0.15	0.15-0.20	0.20-0.23	0.23-0.25	0.25-0.30	0.30~
2011年12月(第1回)	1.4%	15.9%	38.3%	21.5%	10.7%	10.2%	2.1%
2012年06月(第2回)	13.6%	39.2%	36.3%	6.7%	2.0%	1.9%	0.2%
2013年06月(第3回)	37.8%	50.8%	10.7%	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%
2013年12月(第4回)	58.7%	36.8%	4.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
2014年06月(第5回)	72.1%	26.1%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2015年01月(第6回)	69.5%	27.0%	2.9%	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%
2015年12月(第7回)	79.2%	19.8%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2016年12月(第8回)	83.9%	15.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2017年12月(第9回)	74.9%	23.1%	2.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%

原発事故のあった2011年以降、これまで9回にわたって市内全域で公道上の放射線量を計測してきました。上の2つのグラフは測定結果を線量率毎に集計したものです。2013年6月の第3回測定までに急速に減少していった放射線が、速度を緩めながらも減少傾向にあるということがわかります。